

## ⑤ 「震災と意志について – 復興のあとに残すもの –」

### 「震災と意志について – 復興のあとに残すもの –」

みやぎ連携復興センターとの共同企画として、自分たちの意志で「つながり」や「分かち合い」を大切に、様々な取組を生んだ活動に焦点を当てて議論を行いました。また、震災後の意志のはたらき等に迫り、今後の活動の継続や展開に向けて「復興のあとに残すもの」についてお聞きしました。

#### □ パネリストの皆様



三浦 隆弘 氏  
(農家 など農と自然のがっこう 主宰)



栗林 美知子 氏  
(NPO法人ウィメンズアイ 事務局長  
・かもしか文庫 主宰)



桃生 和成 氏  
(一般社団法人GrannyRideto 代表  
・つれづれ団 団長)

パネリストには三浦 隆弘氏（農家・なとり農と自然のがっこう主宰）、栗林 美知子氏（NPO法人ウィメンズアイ 事務局長・かもしか文庫主宰）、桃生 和成氏（一般社団法人Granny Rideto 代表・つれづれ団団長）の皆様にご登壇いただき、パネルディスカッション形式で話し合いました。

当日はゲストの皆様のご活動だけでなく、その奥で起動している意志についてのお話をお聞きすることができました。

三浦氏からは、特に震災後に注目を浴びているセリ鍋ムーブメントについて、その背景にある、経済的な価値だけではなく、社会的な共有価値としてのアイデンティティを生みだしたいという思いをお聞きしました。

栗林氏からは復興支援団体と被災者という「支援する」・「支援される」の二項対立の関係ではなく、「一緒にやる」という考え方を根拠に置いた活動についてのお話をお聞きしました。

桃生氏からは、一緒に住んでいる祖母の写真を毎日SNSにアップロードすることの背景にある、震災後に見えた地域における新たなセーフティネットの作り方など、これまでの活動で培われた地域とのかかわり方をお聞きしました。

ゲストの皆様が意志のある仕事をするために必要なことを「協働する仲間」や「地域の歴史や伝統との関わり方」を切り口にお話しいただきました。

そのうえで復興のあとに残していくものは、簡単に答えの出るものではありませんでしたが、「次の世代のことも視野に入れた長期的視点での価値」や「その土地で暮らすことの意味、新しい街の中でも続いていく『暮らし』」、「課題を逆手に取った新たな価値観を生み出していくこと」といった大切な思考の補助線が見えたと思います。

#### □ 会場の様子



～ご協力・ご来場いただいた皆さま、ありがとうございました～

お問い合わせ

※当交流会の事務局運営については、株式会社JTBコーポレートセールスが受託しております。

新しい東北

検索

いいね!

「新しい東北」交流会事務局（株式会社JTBコーポレートセールス 東京中央支店内） 担当 西田、安海（あずみ）

E-mail: nt-info@bwt.jtb.jp

WEBサイト: <http://www.newtohoku.org/>

TEL: 03-6737-9292（平日9:30～17:30）※土曜、日曜、祝日 は休業となります。

Facebook: <https://www.facebook.com/newtohoku>

主催:



官民連携推進協議会（事務局：復興庁）



復興庁  
Reconstruction Agency  
新たなステージ 復興・創生へ